

1. 本園の教育目標

お友だち、保護者、教諭、地域の方という、子どもたちが関わる人々、そして自分自身を大切に思うキリスト教の愛の精神を保育の源泉とし、決まった型に押し込めるのではなく、一人ひとりとじっくりと接する。また、進んで身近な人とかかわり、愛情や信頼感、自分以外の人に共感する力を持ち、社会生活における望ましい習慣や態度を身につけ、子どもたち一人ひとりが持っている発達する力を引き出す援助をねらいとする。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って、自己評価および、教諭同士が相互に評価することによって、幼稚園教諭としての資質を高める。また、子どもたちへの安全への配慮、家庭との連携を深める。

3. 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
<p>教諭の資質・指導能力、および保育内容の向上を図る。</p> <p>・保育の計画性について</p>	<p>・幼稚園教育要領、キリスト教保育誌を用いて、年、学期、月、週、日毎に保育案を作成し、それを園長も閲覧し、指導も交えて協議を重ね、検討、実践、報告、反省という流れを持って、今、目の前にいる子どもたちに、何を提供すべきかを考え行った。</p> <p>日々の報告会の中でも、実践の報告や振り返りと反省の時を持ち、次回の計画の更なる練り直しをする事で、より良いものを常に目指した。</p> <p>内容としては五領域、更に「知・徳・体」に区分し、才児別に年間の目標をたて、それが達成できる様に、細かく目標を定めていった。</p> <p>また、行事(発表会、作品展)を通して、保護者の方が、子どもたちの成長を感じて頂くことができるようにと、行事内容も綿密に話し合い、計画している。</p>
<p>・教員の研修について</p>	<p>・各教諭が大阪府私立幼稚園連盟、大阪市私立幼稚園連合会、キリスト教保育連盟、各種民間業者の行う研修に参加するよう心掛けたが、今年はコロナ禍で多くの研修会が中止となり、思う様に受けることが困難であった。ただ、オンライン等に置き換えた形のものには積極的に参加し、報告書も作成し、他の教員も回覧することにより、情報、成果の共有化を図った。また、引き続き日々の保育反省会の中でも「今日のコマ」として“気づき”を、写真を通してディスカッションし、互いに研鑽を積む機会を設け、日頃の保育に活かせるよう工夫した。</p>

<p>・外部講師による研修</p>	<p>・絵画制作および運動に関しては外部の講師を招き、子どもたちに直接指導をしていただくことに併せて、教師に向けての園内研修会も行った。</p> <p>日頃の保育の中において疑問に思ったこと、困難に感じたことに対しての専門家からの指導をいただき、子どもたちへより適切な指導をする事が出来る様に心掛けた。</p>
<p>・園内研修</p>	<p>・上記の、教師に向けての絵画実技指導や、体育実技指導に加え、大阪市就学前教育カリキュラム、また、各々が改めて日頃の保育に対する目標（ねがい）を意識しつつ保育を行う事が出来る様、園内研修としても、日々の保育反省会の中で「今日のコマ」として“気づき”を、写真を通してディスカッションし、互いに研鑽を積む機会を設け、日頃の保育に活用することが出来る様に学びの機会も引き続き設けた。</p> <p>次年度以降も、続けていきたいと思う。</p>
<p>・子どもたちの安全への教育</p>	<p>・園バスのない当園では、徒歩もしくは自転車での送迎が主であるが、その登園・降園時の交通マナーが例年の課題となっている。近隣の方や、地域の方たちへの配慮が必要となるので、その事に関しても、子どもたちへの指導、また、保護者の方への注意喚起も行っているが、今後も引き続きの指導・配慮を続ける必要がある。</p> <p>登園、降園の際の歩道の確保（長時間に渡る際の、園庭への駐輪の誘導）や、子どもの道路への飛び出しは減少したかと思われるが、この点も安心せず、引き続き注意喚起を行ってきたい。</p> <p>・また、防災への取り組み、ことに災害に備えた防災マニュアルの見直しをはかり、保護者の方との連携をより確実に取ることができるよう工夫し、「引き渡しカード」また、保護者以外の方が来られた際にも迅速に対応できるよう、「引き渡し可能者名簿」も作成し、有事に備え、活用出来る様にした。</p> <p>また、一斉送信連絡も有事の際に強いと言われているアプリケーション“LINE”仕様の様式に変更し、より安心・安全に活用出来る様に変更し、活用している。</p> <p>・毎年、火災による消防訓練や、地震による避難訓練も行っているが、近年は大きな地震（大阪北部地震）もあり、南海トラフ地震もいつ何時起こるか判らない状況であるので、出来れば、万一の際の指定避難所（上福島小学校）等への避難訓練や、予告なしの園内訓練もコロナが落ち着いたタイミングで行いたいと思っている。</p>

<p>・家庭との連携</p>	<p>・保育内容や子どもたちの園での様子を知らせていただくために、インターネットによる会員限定の写真公開、販売を行っている。参観や公開行事では何うことのできない、普段の様子を知って頂くよい機会になっていると考えている。かつて問題のあった、一度の掲載枚数や掲載回数も見やすい様に工夫し、掲載日程の固定化も図った事で、安定して閲覧出来る様になった。</p> <p>また、今年はコロナにより、保護者の方々を園にお招き出来る機会がなかなか取れなかったので、子ども達の様子を動画撮影し、保護者の方へ無料配信して、見て頂ける様、工夫した。</p> <p>・園日より、クラス日より、また、日々の活動内容をボードに書き、掲示する事で、保育内容を少しでも詳しく知っていただくことができる様、努めている。</p> <p>また、以前より Facebook も必要に応じて活用してはいたが、ネット環境の不具合期間や、諸般の事情（教員不足）もあった為、なかなか更新が出来なかった。次年度は、よりタイムリーな更新が出来る様、努めたいと思う。</p>
<p>・預かり保育の充実</p>	<p>・昨年同様、夏期預かり保育を行った。利用者は延べ564人であった。また通常保育時の預かり保育では平均して29人、全園児の40.2%が利用していた。</p> <p>これらは保護者の仕事や用事がある際に利用されることはもちろんだが、子どもたち同士の交流の場ともなり、預かり保育ならではのゆったりとした時間、異年齢児との関わりの中で、様々な遊びが発展していく光景を垣間見ることも出来るものであった。</p> <p>・また、小学校の参観日等に配慮することが出来るよう、園の行事等で今までは行っていなかった日にも、短縮ではあるが今年度も預かり保育を行うようにした。</p> <p>今後も小学校との兼ね合いなど考慮しつつ、継続して行きたい。</p>
<p>・環境設備の充実</p>	<p>・園庭の樹木剪定や消毒、また、ピアノの調律に加え、園庭遊具及び園舎2階テラスの手すりの塗り替えも行った。</p> <p>この春には、園門扉の取り換え及びテラスの大規模改修（非接触型手洗い場へのリニューアル）も行う予定である。今後も、より良い環境の充実を計って行きたいと思う。</p>

4. 学校評価の具体的な結果や計画の総合的な評価結果、および今後取り組むべき課題

・教職員は各クラスの実態の把握、そこから、保育案の作成、実施、反省と一連の流れの中で保育を行うことが出来る様、心掛けた。その中で、園児一人一人に必要な援助を、研修や園内の協議で分かち合ったことも踏まえ、実践するよう努めた。教師が定めた目標に達しないこともあったが、それを受け止め、子どもたちと共にどのように成長していくことが求められているかを考え、次に活かすことが出来る様、引き続き努力したい。

特に今年は、未だかつてないコロナ禍で様々な事柄が制限され、行事やその他本当に様々な事について、対応やその取り組みを新たに構築する必要を余儀なくされ、実際の内容についても具体的に考える必要もあり、かなり頭を悩ませられたが、その中でも出来る限り“中止”という形にはせず、変更や工夫する事によって、子ども達の経験や育ちを阻害する事の無い様、努力した。また、この事についても、保護者の方々に対する説明が必須であった為、十分理解して頂けるよう、都度説明し、保護者の方に対する配慮も例年以上に行った。

・子どもたちの安全への教育に関しては、ここ数年来の大きな課題となっている。特に降園時の交通マナーに関して、近隣の方たちから毎年厳しいご意見をいただいているので、保護者の方にもご理解・ご協力を頂き、子どもたちの安全のためにも、引き続きの意識付けをしていく必要があるかと思う。

・家庭との連携に関しては、保護者の方と協力しつつ、保育、行事も形を変えながら行う事が出来る様に努めた。特にご協力をお願いする行事でも、保護者の方は子どもたちの豊かな成長のため、教師と協力し支えて下さった。日頃は、登園・降園の短い時間の中ではあるが、家庭での様子や園での様子を少しずつでも伝え合い、今後もわかちあうことが出来ればと思っている。特に今年はコロナという未だかつてない事柄により、前例もない、全く手探りの中での一年間ではあったが、各方面と連携を図り、無事に過ごすことが出来た。

保護者会としての活動も困難であることが予想された為、役員の数も減数し、コロナ禍での保護者の皆様の想いも園として受け止めつつ、連携を図れるよう努めた。ご迷惑をお掛けした事も多々あったかと思うが、役員会も例年の様に皆で集まる事が出来ない中でも、連携を密に取りながら、様々な事柄に対してご理解・ご協力を頂いたことは感謝であった。

・地域との連携に関しては、例年であれば金蘭会高等学校中学校との日頃の交流の結果、園児との交流会も持つ事が出来ており、旧バザー（新名称：あいき・いきいき・フェスタ）に於いてもよき交流の時を持てているが、今年度はコロナ禍の為、開催を見送る事になったが、運動会開催場所（上福島小学校の建て替え工事によるグラウンドの使用不可）問題も、快くお受け頂く事が出来ていると思う。

また“園だより”を近隣の小学校に送付し、少しでも当園の様子や予定を伝えられるよう工夫していたが、その効果が表れ、鷺洲小学校からは学校便りも送って頂いており、昨年度は小学校へ年長児を連れ、図書室の見学や読み聞かせ等交流させて頂く機会も持てたが、今年はコロナ禍にあり叶わなかった為、次年度、コロナが落ち着いていれば更に善き交流を持てる様、引き続き地域の方々と寄り添い、互いに支え合って行きたいと思う。

・預かり保育 特に夏期預かり保育に関しては、目標を達成出来ていると考えている。

ただ今年度、昨今のコロナ禍において園に求める要望として“冬期・春期の預かり保育の実現”と“午前保育の撤廃”を、一部の保護者（もも・ゆり）の方々から年度末（3月）に“要望書”としてお預かりした。これについては、教職員の人材確保や研鑽を積む機会（研修や会議時間）の確保、またそれに付随して子ども達への教育の充実、さらには職員の処遇にも直結する事項でもある為、容易に短期間でお応え出来るような事柄ではないが、今後、園を取り囲む環境の変化（地域性及び子育て環境）に対して、園としてどの様に寄り添って行けばよいのか、ゆくゆくは…と考えていた事柄でもあったので、その旨を評価委員会の中でお伝えしたところ、評価委員の方々から“元々、そういう条件の元、この幼稚園を選び、子どもを通わせているのだから、そうして頂ければそれは勿論有難いが、「要望書」という形を取ってまで強いるものではないと思う”と仰って頂いた。保護者の方の想いを分かりやすい形として示して頂けたと思うので、今後起こって来るであろう、園を取り巻く様々な変化に備え、留めておきたい。

・設備の充実に関しては、今後も引き続き理事会と連携を図りつつ、より良いものとして行きたい。

*次年度（4月）より、園門扉を自動解錠施錠システムに変える予定なので、防犯面でもより一層安心、安全に登降園もして頂け、保育中においても安心感を持って頂ける事かと思う。

5. 学校関係者評価

*2021年4月23日（金）2020年度学校関係者評価委員会開催 上記内容以外、特段の指摘も無く、無事閉会した。

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。